

ひかり

2025年6月号

第734号



Pentecost

日本聖公会 三光教会

〒142-0064 東京都品川区旗の台 6-22-24

電話 03(3781)2554

FAX 03(3781)2544

<http://nssk.org/tokyo/church/sanko/stephen/>

創立 救主降誕 1912年(大正元年)11月2日

しかし、その方、すなわち真理の霊が来ると、あなたがたをあらゆる真理に導いてくれる。その方は、勝手に語るのではなく、聞いたことを語り、これから起こることをあなたがたに告げるからである。その方は私に栄光を与える。私のものを受けて、あなたがたに告げるからである。

(ヨハネによる福音書 16 : 13~14)

星を数えてみるがよい

司祭

シモン・ペテロ 上田憲明

「私の人生はこれでおしまい」というような大げさな表現で、自分の失敗や絶望感を表す人がいる。「私の人生は終わった。」確かにそうかもしれない。でも、それはその人が思い描いた自分にとっての自分の「人生」が終わったに過ぎない。多くの人の人生全体を振り返るお話を聞いていると、それは、さらに自分の人生の意味を見つけ出すきっかけになっていったことが語られることが多い。

自分の「人生の質」がどういう状態にあるか？というのには、多くの人の人にとってとても意味深いことで、自分の「人生の質」を高めるのは、私たち自身が生きていく上での大きな課題の一つなのだろう。人生全体の中で自分はどの辺にいたのだろうか？悔いが残るようなことだらけだろうか？感謝できることはないのだろうか？時に生きる意味が分からなくなってしまうようなことも起こる。

旧約聖書創世記を読んでいると、王国間の争いに巻き込まれて、捕虜として連れ去られた甥のロト一家を助けるために、獅子奮迅の働きをして、戦いに勝利をしたアブラハムに、神さまから、さらに祝福の言葉が語られる話がある。しかし、アブラハムは、その時はたとえ気づいてしまおう。自分に子どもがいけないので、いくら神さまに祝福してもらって、財産も増え、名声も得られても、それは一時のことに過ぎないことに。自分の人生の中で手に入れたものは、やがて全部、自分によくしてくれたので跡継ぎとして一目を置いているが、あくまで他人のエリエゼルのものになる予定だということに。アブラハムは愚痴のように神さまに言う「あなたは私に子孫を与えてくださいませんでした。」(創世記 15...3)と。

このエピソードの中で、とても好きなところは、そこで神さまは、アブラハムを外に連れ出して、「天を見上げて、星を数えることができるなら、数えてみなさい」(創世記 15...5)と言うところである。

人は行き詰ったように感じる

時には、視野が狭くなる。そして自分の立ち位置から見える事だけが、この世の真実の全てのように感じてしまおう。しかし、一旦、その気がかりなことを脇において、自然に触れてみることは、違った視点を与えてくれることが多い。アブラハムは自分中心の見え方をしているとところから、現実をもう少し客観的に見るができるようになったのではないだろうか。その上で、神さまが示してくださった思いもかけない未来へ希望を持ち、神さまを信頼して歩んでみようとしてみたことが語られているように思う。

満点の星の前に、自分の小ささを痛感しつつも、そんな自分に神さまは次々と恵みと祝福を与えてきてくださったことに驚きと感謝をもって振り返ったのではないだろうか。それをもたらしにくださった神さまを、これから信頼して歩んでいこうとしたアブラハムが描かれているのだと思う。

6月・8月の予定

25日(月)	24日(日)	20日(水)	18日(月)	17日(日)	15日(金)	11日(月)	10日(日)	8日(金)	6日(水)	4日(月)	3日(日)	◆8月	27日(日)	26日(土)	25日(金)	22日(火)	20日(日)	13日(日)	11日(金)	7日(月)	6日(日)	◆7月	30日(月)	29日(日)	28日(土)	24日(火)	22日(日)	◆6月
使徒聖バルトロマイ日	聖霊降臨後第11主日	修院長教会博士ベルナルド	修院長教会博士ベルナルド	聖霊降臨後第10主日	主の母聖マリヤ日	修院長おとめクララ	聖霊降臨後第9主日	司祭修道士ドミニコ	主イエス変容の日	逝去者記念礼拝	聖霊降臨後第8主日		聖霊降臨後第7主日	おとめ聖マリヤの母アンナ	使徒聖ヤコブ日	マグダラの聖マリヤ日	聖霊降臨後第6主日	聖霊降臨後第5主日	修院長ベネディクト	逝去者記念礼拝	聖霊降臨後第4主日		使徒聖ペテロ・使徒聖パウロ日	聖霊降臨後第3主日	殉教者主教イレナエウス	洗礼者聖ヨハネ誕生日	聖霊降臨後第2主日	

◆青年の集い

「ザ・ア会」スタート

こんにちは。三光教会教会員の曾山もここです。今年三月に大学を卒業し、今は社会人一年目です。

この前のイースター礼拝の後から、青年の集い「ザ・ア会」がスタートしました（その時読んだ聖書箇所がルカによる福音書19章だったので：みんなでこの名前に決めました）。月に一回、第三日曜日の主日礼拝後に、教会事務所や会館で聖書を読んだり、絵本を読んで分かち合いをしたり（私持っている奥田知志著の『すべては神様が創られた』という絵本を読みました）：この前はみんなでたこ焼きを作って食べました。楽しかったです。

もうあまり「コロナ」と言いたくありませんが、私が三光教会に通い始めた頃はコロナの制限が厳しかったこともあり、教会に青年がいなかったことが当たり前だと思いがちでした。私はもう社会人になってしまったけれど、今、

こうして、ザ・ア会を通して三光教会につながる青年たちと同じ時間を過ごしている。本当に夢のようで、あー、神様ありがとうございます！という気持ちです。中高大学生（社会人数年目の方も大歓迎）が礼拝後に集まって、楽しくあったかい時間を過ごす。ザ・ア会はまだまだ小粒ですが、希望しありません！笑

みなさんどうか、お祈りください。（記・曾山 ももこ）

★次回のザ・ア会は7月20日（日）主日礼拝後 教会事務棟にて開催します。

教会のお掃除にご協力を

聖堂内外のお掃除の協力者が少なくなりました。土曜日の午前10時から1時間程ご奉仕ください。ご協力いただける方は直接参加してください。

はじめて教会にいらした方へ
礼拝様式に馴れない方は椅子にお掛けになったままで結構です。
●礼拝中の献金は、信施金として伝道のために献げられるものです。金額は自由です。
●わからない点は隣の席の者か案内係にお聞きください。

礼拝のご案内

- 主日礼拝
午前 7:30 聖餐式
午前 10:00 ステパノ会
(日曜学校)礼拝
午前 10:30 聖餐式
午後 4:00 夕の礼拝
- 平日礼拝
毎朝6:30 から
月、水、金、土は朝の礼拝、火、木は聖餐式